



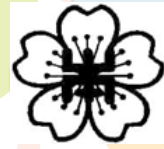
# 開校120周年



**10月の学校公開**

なかなか気候が安定しない日が続きますが、冬の息吹を感じる季節となりました。

10月の学校公開には2日間でのべ700名という大勢の保護者、地域の皆様にご参



# 本村小学校

## だより

### 第11月号

#### 開校百二十周年記念

全ては子供たちの自己肯定感のために  
校長 山村 登洋

発行所 港区立本村小学校  
〒106-0047  
港区南麻布3-9-33  
TEL: 03-3473-1462  
FAX: 03-3443-8535

観いただきました。誠にありがとうございます。公開中に予定していた開校記念のバルーンリリースが延期になってしまいました。子供たちの日常や活躍している姿をご覧いただけた2日間となりました。

#### 120周年記念行事大集合!

さあ、11月は「開校120周年」を記念する行事が目白押しです。

第一弾として開校記念音楽会が11日(金)、12日(土)に開催されます。今回は、分散開催は行わず、保護者の皆様の人数制限はありませんがほぼ通常通りの開催となります。

子供たちは10年に一度の特別な記念音楽会を成功させるために音楽の授業をベースに日々練習に取り組んでまいりました。休



開校110周年記念の様子

つ姿になる記念音楽会となればと思います。体育館は素敵なコンサートホールとなります。

また、12日(土)の保護者鑑賞日当日の11時30分より10月の学校公開から延期となったバルーンリリースを校庭で行います。保護者様の参観もできます。今度こそバルーンリリースの目撃者になつてくださ

い。

22日(火)の開校記念児童集会を経て、26日(土)は「開校120周年記念式典」が体育館で行われます。学校代表とし

時間を返上して自主的に練習して子供たちもいました。そんな子供たちの気持ちが一

て6年生が参加してお祝いの言葉を話します。式典後のアトラクションでは、6年生による演奏、合唱、本村チアダンスによる演技も予定されています。

#### 全ては自己肯定感向上のために

このように開校120周年記念行事を行う上で最も大切なことは、本校の歴史、伝統、愛校心を学ぶと共に子供たちが取り組んだ行事やイベントの達成感が自己肯定感、自己有用感に繋がっていくことです。周年記念行事、イベントを通して子供たちの幸せ、笑顔が増えていくことが私たちの一番の喜びなのです。

### 本村小学校の歴史を振り返る

- ①本校は明治34年春に当時竹田ヶ原と呼ばれた麻布の大地に、木造2階建て、10教室の校舎が建てられました。
- ②明治35年4月15日に初代校長水野慎作先生が着任し、本村尋常小学校として開校しました。(開校式は11月15日)全校児童数は128名。
- ③「本村」という名称は、江戸時代に麻布本村町と言っていたときの、町の名前でした。
- ④その後、日露戦争、関東大震災、太平洋戦争を経験したり、校舎が火災に遭ったりしました。
- ⑤大正12年には全児童数1800名でした。
- ⑥現在まで卒業生は12,954名です。
- ⑦本村小は、明治、大正、昭和、平成、令和の5つの時代、120年間を歴史と共に見守り続けてきました。